

MAKÓ・マコー

1. 基本情報

マコーという町がルーマニアに近くにある、国の南東部に位置している。玉ねぎで有名な町である。面白い光景がたくさんある。マコーのセンターにある「HAGYMATIKUM」というスパがある。大人のチケット料金は3 100 Ftである。スパの職員は英語ができるはずだ。18の異なるプール、そして医療サービスもある。スパは毎日午前8:00時から午後20:00頃まで使える。



2. 歴史

マコーは1247年以来存在している。玉ねぎの町と呼ばれており、玉ねぎと関係があるイベントがたくさんある。例えば、玉ねぎの舞踏会や、玉ねぎのカーニバルや、玉ねぎのフェスティバルなど。玉ねぎとはマコーの誇りで、マコーの玉ねぎはフンガリウムにも選ばれている。

マコーはトルコとハブスブルグの支配を生き延びた。トルコが支配した時代、町は全焼した。しかし、マコーは再建され、改革の中心になった。第一次世界大戦中、マコーからの多くの男性が戦いに参加して、女性たちは玉ねぎを育て続けた。第二次世界大戦中、マコーはすぐに占領され、ドイツ人は橋を爆破し、500人の地元住民と1,200人のユダヤ人を殺害した。

第二次世界大戦の後、マコーはさびれてしまったが、ゆっくりと、しかし確実に、人々は街に戻り、マコーは力強い町になった。

現在、新しい建物が建てられ、ますます人気のある町になりつつある。

3. 有名人

MAKOVECZ IMRE (マコヴェツ・イムレ)

私の紹介したい町のもっとも有名な人はMAKOVECZ IMREである。

1935年に生まれた。ハンガリーで最初に木材などの有機材料から建物を設計したアーキテクトである。2000年から、マコーの新しい公的機関はMAKOVECZIによって設計された。彼のもっとも有名な建物はマコーの「HAGYMATIKUM」温泉の建物である。



4. 名所／プログラム

玉ねぎの町と呼ばれており、玉ねぎと関係があるイベントがたくさんある。例えば、玉ねぎの舞踏会や、玉ねぎのカーニバルや、玉ねぎのフェスティバルなど。最も重要なイベントは、「HAGYMAFESZTIVÁL」と呼ばれているフェスティバル。この3日間のイベントでは、マコーの玉ねぎが祝われる。フェスティバル期間中は、スポーツイベント、コンサート、フェアなどが開催される。



また、マコーには「József Attila Múzeum」と呼ばれている有名な博物館はある。展示会は、とりわけ、マコーの700年の歴史、それとも街の有名な人たちの作品のものを紹介して

いる。建物内には絵画や彫刻も見られる。建物外には「József Attila」を描いた有名な像がある。博物館の中庭には「SKANZEN」という野外博物館がある。

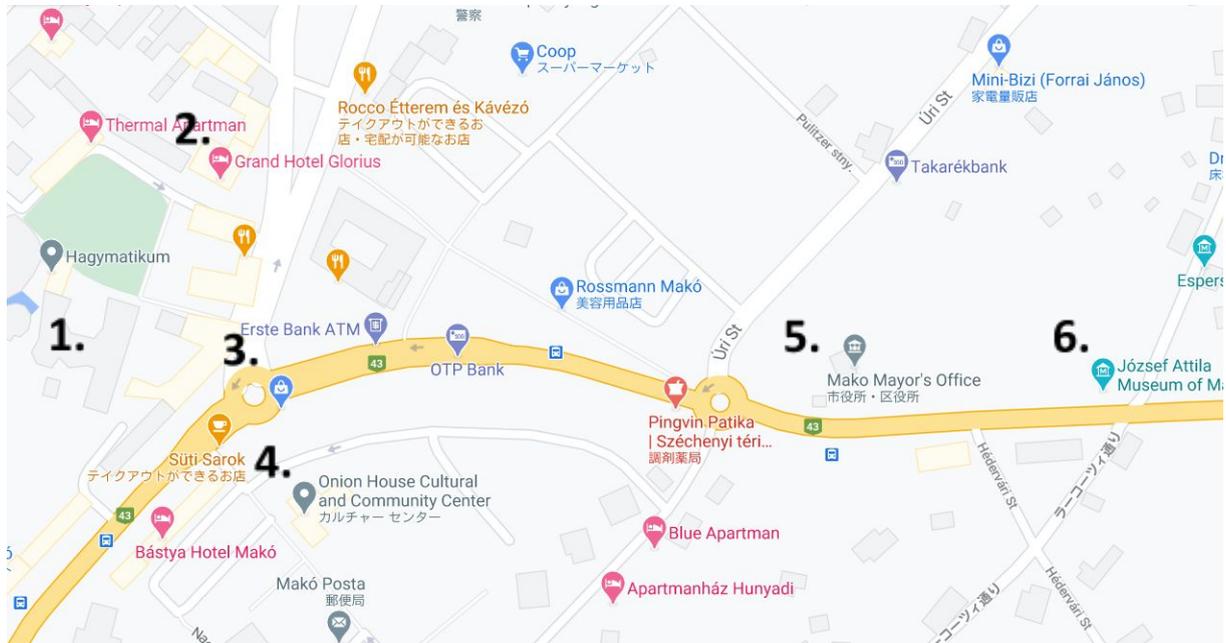


5. 宿泊施設、飲食店、小売店

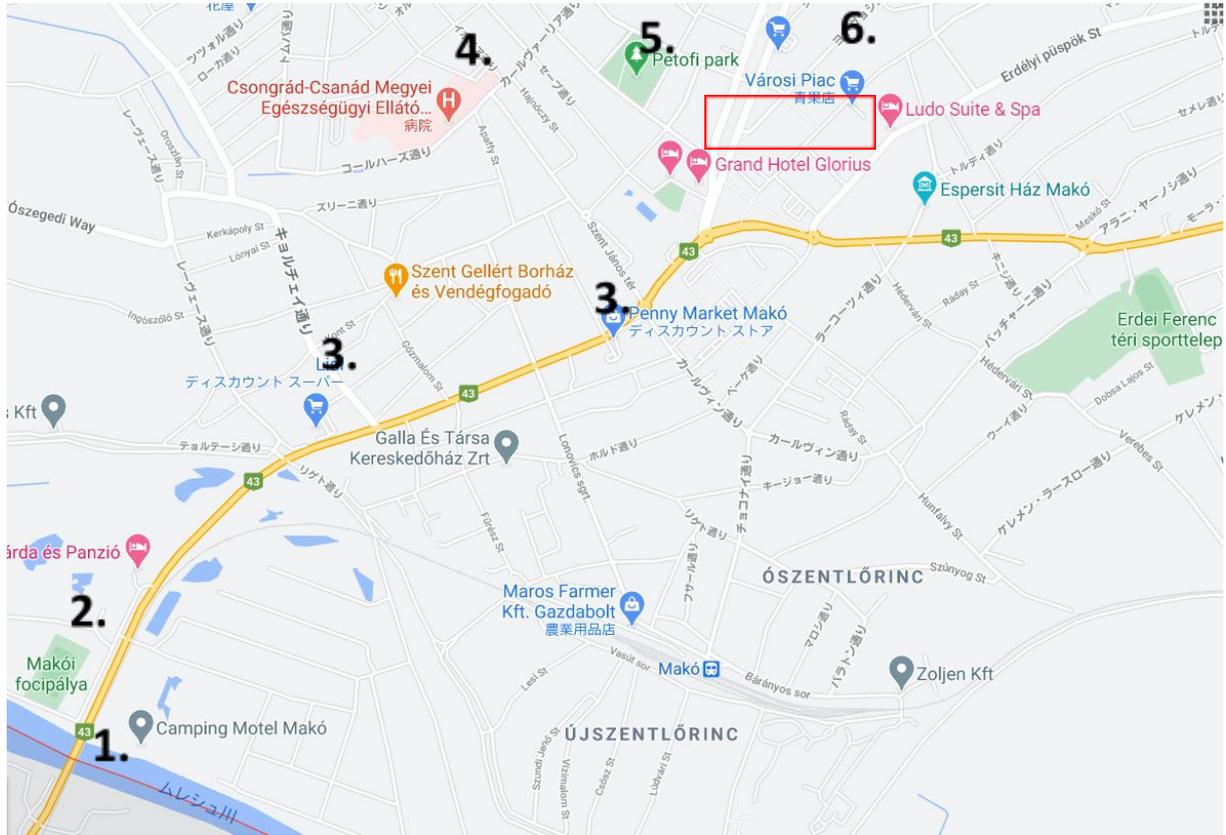
町の最も人気のある宿泊施設は「Grand Hotel Glorius」である。ホテルは市内中心部に、スパの隣にある。4つ星ホテルである。GloriusホテルからGloriusレストランは100メートルである。Gloriusレストランの建物は1920年代に建てられた。



6. 歩き方



1. Hagymatikumスパ
2. Grand Hotel Glorius
3. 都心（フェスティバルが開催される場所）
4. Hagymaház（カルチャーセンター）
5. Makói Polgármesteri Hivatal（市長室）
6. József Attila Múzeum（博物館）



1. マロシュ川
2. Makói focipálya (サッカー競技場)
3. スーパー
4. 病院
5. Petófi park (公園)
6. 市場